様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	日本保健医療大学
設置者名	学校法人共済学院

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
保健医療学部	看護学科	夜・通信	0	0	110	110	13	
	理学療法学科 令和６年度以降入学生教育課程	夜・通信		0	115	115	13	
	理学療法学科 令和５年度以前入学生教育課程	夜・通信			95	95	13	
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

保健医療学部看護学科
大学ホームページ　トップページ＞大学案内＞情報公開＞大学等修学支援法関係情報＞看護学科・実務経験のある教員等による授業科目一覧
https://www.jhsu.ac.jp/guidance/information/
保健医療学部理学療法学科
大学ホームページ　トップページ＞大学案内＞情報公開＞大学等修学支援法関係情報＞理学療法学科・実務経験のある教員等による授業科目一覧
https://www.jhsu.ac.jp/guidance/information/

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	日本保健医療大学
設置者名	学校法人共済学院

１．理事（役員）名簿の公表方法

本学 HP で公表する。
https://www.jhsu.ac.jp/guidance/information/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	医療法人理事長	2025 年 5 月 29 日～2027 年 5 月 28 日	経営計画の策定、組織運営体制へのチェック機能
非常勤	前日本保健医療大学 保健医療学部看護学科 教授	2025 年 5 月 29 日～2027 年 5 月 28 日	経営計画の策定、組織運営体制へのチェック機能
非常勤	社会福祉法人事務局長	2025 年 5 月 29 日～2027 年 5 月 28 日	経営計画の策定、組織運営体制へのチェック機能
非常勤	株式会社勤務	2025 年 5 月 29 日～2027 年 5 月 28 日	経営計画の策定、組織運営体制へのチェック機能
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本保健医療大学
設置者名	学校法人共済学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

【シラバスの作成過程と公表時期】
11 月・・・・授業科目担当教員にシラバス原稿作成の依頼を行う。
1 月下旬・・・第 1 次原稿チェック（教務学生課）
2 月・・・・・第 2 次原稿チェック（教務委員会）
4 月・・・・・学生ポータル、大学ホームページにて公表する。
4 月・・・・・シラバスについて新年度ガイダンスにて説明する。

授業計画書の公表方法	学生ポータル、大学ホームページにて公表

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

シラバスに記載してある各授業科目の成績評価の方法・基準に基づき、単位認定教員が学生の学修成果を厳格かつ適正に評価して単位認定している。
単位認定教員の主観的な評価を排除するために、成績評価の方法は客観的な方法・基準に基づき 100％換算して成績を判定している。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

成績評価は100点満点とし、それをS，A，B，C，Dに評価し、Dは不合格となる。
それぞれの基準は次のとおり。

評点（点数）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下	認定
成績表示	S	A	B	C	D	N
GP	4	3	2	1	0	対象外

100～60点（評価S～C）が合格、59点以下（D）は不合格である。
「認定」とは既修得単位として認定されたもので、評価はつかず、また、GPA計算からも除外される。
成績評価に対して、グレード・ポイント（以下「GP」という。）を設定し、不合格の授業科目も含めて、履修登録した授業科目のグレード・ポイントの平均（グレード・ポイント・アベレージ、以下　「GPA」という。）を算出し、総合成績評価を行う。

GPAの算出式は次のとおりである。
GPA＝{（各学期に評価を受けた科目のＧＰ）×（当該科目の単位数）}の累計÷（各学期の履修登録科目の単位数の合計）累計
具体的には、
GPA＝（Sの単位数×4＋Aの単位数×3＋Bの単位数×2＋Cの単位数×1）÷（成績評価を受けた授業科目の単位数）　である。

客観的な指標の算出方法の公表方法	本学ホームページで公表する。 https://www.jhsu.ac.jp/guidance/information/ の「履修規程」の中で規定している。

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

ディプロマポリシー（大学学位授与方針）

【保健医療学部看護学科】
以下の要件を満たした者に学位を授与する。

①保健医療専門家としての高い教養と豊かな人間性を身につけている。
②年齢や性別、国籍など個人の多様性のみならず、様々な集団や社会の文化的多様性を理解し尊重できる。
③様々な発達段階や健康段階にある人々へ対応するための専門的知識を持ち、科学的根拠に基づいて創造的な看護実践ができる。
④保健医療専門家としての倫理観を基盤にチーム医療を担う一員として、協働的関係を築ける。
⑤地域社会の健康課題やニーズを捉え、自主的に地域活動に参加する姿勢を身につけている。

⑥外国語や他国の保健医療事情などの学修を通じ、他文化の理解と国際的な視野に立ち、保健医療を含めた国際貢献について考えることができる。
⑦看護の探求と看護学の発展に寄与するために生涯学び続ける姿勢を身につけている。

【保健医療学部理学療法学科】
以下の要件を満たした者に学位を授与する。

（1）認知領域（知識・思考・判断）
①保健医療専門職として相応しい知識と深い教養を身につけている。
②外国語や他国の保健医療事情などの学習を通じ、他文化の理解と国際的な視野に立ち、保健医療について考察できる。
③多様な情報を適切に分析し、合理的な思考ができる。
④必要な問題解決方法を理解している。

（2）精神運動領域（技術・行動・表現）
①保健医療領域の諸課題を見出し、科学的考察による的確な判断と専門職として相応しい対応ができる。
②確実な基本的技術を提供する能力と、漸次高度化する専門分野の先進技術を学ぶ姿勢を持っている。
③患者様、その家族、そして専門家集団の中で適切なコミュニケーション、さらには外国語による基本的な会話などを通して国際的なコミュニケーションが行える能力を身につけている。

（3）情意領域（関心・意欲・態度）
①生涯にわたり専門分野を探求し、発展に寄与する意欲を持っている。
②理学療法士の使命・責任と守るべき義務を理解し、誇りを持った行動ができる。
③人と社会に深い関心を持ち、人権を尊重し、高い倫理観を維持できる。

卒業の認定に関する方針の公表方法	本学ホームページで公表する。 保健医療学部看護学科/理学療法学科 https://www.jhsu.ac.jp/guidance/policy/

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	日本保健医療大学
設置者名	学校法人共済学院

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本学ホームページで公表 https://www.jhsu.ac.jp/guidance/information/
収支計算書又は損益計算書	本学ホームページで公表 https://www.jhsu.ac.jp/guidance/information/
財産目録	本学ホームページで公表 https://www.jhsu.ac.jp/guidance/information/
事業報告書	本学ホームページで公表 https://www.jhsu.ac.jp/guidance/information/
監事による監査報告（書）	本学ホームページで公表 https://www.jhsu.ac.jp/guidance/information/

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：	対象年度：　　）
公表方法：	
中長期計画（名称：	対象年度：　　）
公表方法：	

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：公表方法：本学ホームページで公表 https://www.jhsu.ac.jp/guidance/information/

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　保健医療大学
教育研究上の目的（公表方法：大学 HP で公表 https://www.jhsu.ac.jp/guidance/objective/）
（概要） １ 人間性　深い教養と豊かな人間性 人間性豊かな人材を育てることを重視しています。医療分野は困っている方や弱者が対象のため、常に相手の立場を考え行動する心構えを養っていきます。 ２ 専門性　高い専門性と総合的な視野をもち、独創性・指導性も発揮する力 医療技術の進歩に伴い、専門性と総合的な視野を持ったプロフェッショナルが求められています。本学は基礎科目に多くの時間をかけて学び、医学的な知識を土台にした高度な専門性を培います。 ３ 国際性　グローバルスタンダードに対応できる国際性 近年、看護師・保健師・理学療法士が海外に活躍の場を求め、国際社会からも専門技術が求められるようになっています。本学では語学力の習得にも力を入れ、国際社会からも評価される人税育成をめざしています。 ４ 社会性　地域社会のみならず国際社会に貢献できる社会性 多様な医療スタッフから構成される医療現場で協調性をもって働くために、社会性をもった人材育成を重視しています。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：大学 HP で公表 https://www.jhsu.ac.jp/guidance/policy/）
（概要） 保健医療学部看護学科： 以下の要件を満たした者に学位を授与する。 ①保健医療専門家としての高い教養と豊かな人間性を身につけている。 ②年齢や性別、国籍など個人の多様性のみならず、様々な集団や社会の文化的多様性を理解し尊重できる。 ③様々な発達段階や健康段階にある人々へ対応するための専門的知識を持ち、科学的根拠に基づいて創造的な看護実践ができる。 ④保健医療専門家としての倫理観を基盤にチーム医療を担う一員として、協働的関係を築ける。 ⑤地域社会の健康課題やニーズを捉え、自主的に地域活動に参加する姿勢を身につけている。 ⑥外国語や他国の保健医療事情などの学修を通じ、他文化の理解と国際的な視野に立ち、保健医療を含めた国際貢献について考えることができる。 ⑦看護の探求と看護学の発展に寄与するために生涯学び続ける姿勢を身につけている。 保健医療学部理学療法学科： 以下の要件を満たした者に学位を授与する。 （1）認知領域（知識・思考・判断） ①保健医療専門職として相応しい知識と深い教養を身につけている。 ②外国語や他国の保健医療事情などの学習を通じ、他文化の理解と国際的な視野に立ち、保健医療について考察できる。 ③多様な情報を適切に分析し、合理的な思考ができる。 ④必要な問題解決方法を理解している。

（2）精神運動領域（技術・行動・表現）
①保健医療領域の諸課題を見出し、科学的考察による的確な判断と専門職として相応しい対応ができる。
②確実な基本的技術を提供する能力と、漸次高度化する専門分野の先進技術を学ぶ姿勢を持っている。
③患者様、その家族、そして専門家集団の中で適切なコミュニケーション、さらには外国語による基本的な会話などを通して国際的なコミュニケーションが行える能力を身につけている。
（3）情意領域（関心・意欲・態度）
①生涯にわたり専門分野を探求し、発展に寄与する意欲を持っている。
②理学療法士の使命・責任と守るべき義務を理解し、誇りを持った行動ができる。
③人と社会に深い関心を持ち、人権を尊重し、高い倫理観を維持できる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページで公表 https://www.jhsu.ac.jp/guidance/policy/）

（概要）
保健医療学部看護学科：
本看護学科は、ディプロマポリシーで示された能力や態度を備えた「人々にとってよい看護者」を育成するために、以下に示す方針に基づいて、学修を段階的に積み上げ、それを螺旋的に繰り返し、内容を充実していけるよう科目を配置している。また、人々の健康生活の支援に関する科目は「個人→集団」、「健康→健康障害・終末期」に向かうように配置している。

1.教育課程の編成

「基礎系科目」「専門基礎系科目」「看護学専門科目」の3つの科目群から構成する。
1）「基礎系科目」は看護の対象である人間や社会・文化を総合的に理解する幅広い教養を育むことを目的として科目を配置する。
2）「専門基礎系科目」は看護専門職に不可欠な基礎的知識を学び、その後の専門的な学修内容につなげられることを目的とした科目を配置する。
3）「看護学専門科目」は、看護専門領域における看護実践能力を段階的に獲得することができるよう、エビデンスに基づいた看護実践力を身に付けるための授業科目を系統的に配置する。さらに領域別実習前には看護実践能力を継続的に学ぶためのOSCEを配置する。
4）カリキュラムの中心には「地域で暮らす人」を置き、人々の健康生活の支援に関する科目は、1年次から4年次まで継続して学修できるように配置する。
2.教育方法

授業では、それぞれの科目を講義、演習、実習等の多様な学修形態を通じて展開する。
1）健康に関する問題解決の為の知識と実践能力を高めるために、1年次から学年毎に演習や臨地実習を配置する。
2）自己の学力を、客観的に評価し進歩させ、能動的に学ぶ力を養うために、授業におけるアクティブ・ラーニングを促進する。
3.教育評価

各科目はディプロマポリシーを念頭に置き、学修の達成目標を掲げている。その目標が達成されたかを実行可能性（知識・技術・態度）のある評価表を用いて厳密に評価する。

保健医療学部理学療法学科：
本理学療法学科は、「人間性の高揚と、共存共栄の精神（共済主義精神）」を理想に掲げ、高度の専門性を持って幅広く活動できる保健医療福祉の専門職を育成し、国民ひいては人

類の福祉と活力ある、より高度な社会の実現に貢献する」という建学の精神に基づいた以下の４項目の教育目標に基づき、教育課程の編成方針を定める。

①深い教養と豊かな人間性を備えた人材の育成【人間性】
②高い専門性と総合的な視野を持ち、独創性・指導性の発揮できる人材の育成【専門性】
③グローバルスタンダードに対応できる国際性を備えた人材の育成【国際性】
④地域社会のみならず国際社会に貢献できる人材の育成【社会性】
教育課程の編成方針

教育課程は、基礎科目、専門基礎科目、専門科目から構成される。
基礎科目は学士力の基礎としての深い教養、問題解決能力、コミュニケーション能力を身につけるための広範な科目を開設する。
ディプロマポリシーを達成するよう、４年間を通して教育課程を体系的に配置する。
臨床実習は全ての要素を総合的かつ統合的に涵養する機会として配置

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページで公表
https://www.jhsu.ac.jp/guidance/policy/）

（概要）
日本保健医療大学の理念と目標について

日本保健医療大学は、人間性（儒教の三綱五常の精神を基本とする）の高揚（人間性の復活から、人間性の高揚へ）と、共済主義、又は共済主義精神（共存共栄の精神）を理想に掲げ、高度の専門性を持って幅広く活動できる保健医療の専門職を育成し、人類の平和と高度な人類文化の実現に貢献することを目標とする。

日本保健医療大学が求める学生像

①日本保健医療大学の基本理念を充分に理解し、保健医療専門家として慈愛、正義、礼節、知識、誠実を身につけ、社会人としての責任態勢の確立に努力し、また中庸を道とし、民族、宗教、思想に捉われることなく、自由と平等の立場並びに一地球人として、我が物を独りせず、他の物を欲せず、自他共存共栄の社会の実現に貢献したいと考える人
②これからの時代の健康、医療、福祉分野における科学技術の高度化、専門化に対応するための努力を継続できる人
③幅広い教養と広い視野を備えた豊かな人間性を養うため積極的に自らを磨いていける人
④あらゆる人に対して自らの心を開き、協調性をもってコミュニケーションをとる人
⑤保健医療専門家としての使命を果たすため、利他の精神をもって病める人々に貢献し、権利の主張より義務の全うに努力できる人
⑥学業・社会貢献・技術・芸術・スポーツの分野で優れた活動実績を有し、さらに日本保健医療大学での学びを活かして将来それぞれの分野で活躍したいという意欲を持つ人
⑦今日迄周囲の人々に教え育てられたことに報いるため、卒業後は身に付けた学問を社会還元し、将来、母国および国際社会における健康、医療、福祉分野に貢献したいという強い意志を持つ人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学ホームページで公表
https://www.jhsu.ac.jp/department/healthscience/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	1 人	－					1 人
保健医療学部	－	14 人	8 人	12 人	3 人	1 人	38 人
	－	人	人	人	人	人	人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0 人	73 人	73 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
保健医療学部	130 人	59 人	45.4%	670 人	313 人	46.7%	0 人	0 人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	130 人	59 人	45.4%	670 人	313 人	46.7%	0 人	0 人

（備考）
令和 7 年度より入学定員を 50 人減（看護学科：100 人から 80 人、理学療法学科：80 人から 50 人）のため、令和 7 年度より入学定員 130 人で、令和 7 年度の収容定員は 670 人となる。
収容定員は、令和 8 年度に 620 人、令和 9 年度に 570 人、令和 10 年度に 520 人となる。

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
保健医療学部	93 人 (100%)	84 人 (90.3%)	人 (%)	9 人 (9.7%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	93 人 (100%)	84 人 (90.3%)	人 (%)	9 人 (9.7%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）

（備考）

c.修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
合計	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
（備考）					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
授業科目、授業の方法等については、１.授業、２.授業科目の区分と構成、
３.単位４.履修登録　５.試験　６.進級・卒業　等の項目を記載している。
授業の内容や年間の授業の計画については、基礎系科目、専門基礎系科目、
専門科目にわたり、所定の記載項目（授業科目名、配当年次、必修・選択等の別、
単位数、時間数、授業形態、担当教員、授業科目の概要、到達目標、授業計画、
成績評価方法・基準、授業外における学習、教科書・参考文献等、オフィスアワー
その他）を記載している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
学修の成果に係る評価については、「成績評価」の項目に得点、成績通知書及び
成績証明書での表示、合否判定の区分を記載している。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
保健医療学部	看護学科	129 単位	有・無	単位
	理学療法学科	126 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学ホームページで公表 https://www.jhsu.ac.jp/guidance/environment/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
保健医療学部	看護学科	850,000円	200,000円	450,000円	初年次
		1,050,000円	0円	710,000円	2～4年次
	理学療法学科	800,000円	200,000円	400,000円	初年次
		1,000,000円	0円	700,000円	2～4年次

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 各学年にクラス担任を配置して恒常的に指導を行っている。また、学生から授業に関する意見を求めるため授業評価アンケートを実施している。
b.進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 外部から講師を招き3年次・4年次を対象に就職に関するセミナーを実施している。また、就職支援室や求人票を掲載しているWEBサイトを通じて求人情報等を公開している。
c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 学生相談室を設置しており、日々の生活を送るなかで直面するさまざまな悩みについて相談することができる。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学ホームページで公表 https://www.jhsu.ac.jp/department/

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。